

高津のまちづくりを考える キラリたかつニュース

15

2004年 1月 1日発行：高津区まちづくり協議会

フォーラムを 開催しました

都市計画マスタープラン高津区構想部会

地域別まちづくりフォーラム報告

約20年後に向けたまちづくりの方針を検討している当部会では、区内を4地域に分けて方針づくりを行ってきました。その成果を発表し、市民の方々からご意見をいただくフォーラムを、1月下旬の週末に、地域ごとに4つの会場で開催しました。あいにく雨の日も多く、参加人数は決して多かったとは言えませんが、その分お互いの顔が見える十分な討論ができました。幅広い視野でのご指摘をいただくことにより、意義深い議論を行うことができ、提案に厚みが増すとともに、今後のまちづくり活動に向けての布石を打つことができましたと思います。参加していただいた方々には感謝いたします。今後はいただいたご意見を踏まえて地域別まちづくり方針をまとめ、実現性を高める方策などについて検討をしていく予定です。今後とも都市マス部会の活動にご注目下さい。以下、各会場の様子をお伝えします。



車座になり熱心に話し合いました。(A地域)

A地域:溝口駅周辺と南武線沿線地区

(11月30日 久本、坂戸、末長一部、溝口一部)

雨の中の開催にもかかわらず、宮前区在住の方、国会議員の方、溝の口商店会の役員の方を含め20名強の参加があり活発な意見が取り交わされ、有意義なフォーラムでした。私達の活動に多くの賛同も頂きましたが、溝の口の中心地区であることから私達の気が付かなかった指摘や工業地域に関する多くの意見が出た事は大きな収穫であったと考えています。

B地域:多摩川沿いの住宅と工業地区、大山街道 (11月29日 宇奈根、久地一部、溝口一部、二子、諏訪、北見方、下野毛)

ものづくりのまちを守る・密集市街地の防災まちづくり・生産緑地・大山街道・駅前整備・水と緑・大規模開発のあり方の6つのテーマと若者部会の活動・提案について報告し、ご意見をいただきました。都市農

業や町工場の厳しい経営状況の中での、道路整備や土地利用の誘導についてや、狭い道に車や自転車のあふれる商店街の今後について話し合いが行われました。今後、地区レベルでのまちづくり協議会を発足させ、具体的な課題に取り組んでいく段階に来たという感触を持ちました。

C地域:第三京浜以西の丘陵地区 (11月29日 上作延、下作延、久地一部、溝口一部、向ヶ丘、末長一部、新作一部、梶ヶ谷)
雨天にもかかわらず約10名の方が会場の区役所へ足を運んでくれました。前半では、これまで検討してきたこの地域の重点テーマ「斜面緑地」、「生産緑地」、「街並み」について、部会メンバーがテーマに対する各人の思いを込めて個性豊かに報告しました。後半は、参加者全員で、地域のコミュニティづくりや、まちの緑保全・創出などを熱心に話し合いました。



思いの込められたやりとりがありました。(C地域)

D地域:第三京浜以東の丘陵地区 (11月22日 新作一部、千年、千年新町、野川、子母口、子母口富士見台、明津、久末、蟹ヶ谷)

とても気持ちのいい天気の中、地域にお住まいの方も十数名来て頂き、部会で検討した将来ビジョンを聞いていただきました。私たちが希望や理想を述べるのに対し、住民の方々から地域に住んでいる方でしか分からない、実にリアルな問題提起、意見が出されました。私たちと同じように自分たちの町を心から愛し、よくしていきたいと望み、活動している多くの住民の方々があったことに、とても力づけられました。

編集を進めています

私の高津のお気に入り100選委員会

高津のまちづくり資源として大切にしたいものを、高津の風景、高津の暮らし、高津の活動、高津の歴史の4つの部門に分けて収集しています。現在すでに100を超える高津のお気に入りが集まり、委員がそれぞれにコメントを書いています。今年度中には本として出版する予定で、編集レイアウトを進めています。ご期待下さい。

広がる子どもたちとの交流

高津区市民健康の森を育てる会

現場からの報告

10月25日(土) 橘小学校のバザーに「森を育てる会」から参加しました。竹トンボを作ったり、色をつけたり、水槽の中のホタルの幼虫を興味深くのぞいたり、列をつくって順番を待つ子どもたちのキラキラした目。それは、それは賑やかな交流でした。



ワイワイ、ガヤガヤ。竹トンボってはじめて作ったヨ!

10月26日(日)の「森の収穫祭」に突然のお客様。子母口小学校の生徒たち2名、担任の佐川先生に引率されて、やってきました。サツマイモの蔓刈り作業、小さな手にスコップを持っての芋掘り、森の活動報告に耳を傾け、竹うまに乗ったり、パッタが顔に当たって泣いたり。最後は焼き芋、ふかし芋、手製の大学いものご馳走に大喜びでした。



「ふ～ん。健康の森には、いろんな木があるんだねえ～」

森を育てる会のメンバーが、久末小学校へ出かけて、竹トンボの作り方を指導しています。今、生徒達との間に、静かなふれ合いが生まれています。

11月3日文化の日、「橘ウオークラリー」に市民健康の森がコースになりました。雨模様の中を走って来る子ども達、ゆったりゆったりの高齢者、母と子、父と子、健康の森の散策路は沢山の人を迎えて、活気がいっぱいでした。

竹炭教室を開きます

平成16年1月17日(土)24日(土)31日(土)
午前9時 材料費 500円(雨天決行)

定員になり次第締め切る場合がありますので、参加ご希望の方は、事前に右下の連絡先までお申込みください。



高齢者福祉の勉強会をしました

高津の福祉を考える会

11月6日福祉パル研修室にて、川崎市健康福祉局職員を迎えて勉強会を開催しました。

「高齢者保健福祉施策」についての解説では、川崎市や高津区の少子高齢化が急速に進み、高津区の合計特殊出生率(*)は1.28に下がってきているということです。さらに1年度の65歳以上の高齢化率は、高津区が11.98%で川崎市全市平均は13.76%であるとのことでした。(一人の女性が一生涯に平均何人の子どもを産むかの数値で、この率が2.08を下回ると、人口は将来減少すると言われています。)また、高齢化に伴う川崎市における特別養護老人ホーム等の基盤整備や、介護サービスについて、現状の取組みを勉強しました。



和やかに行われた 勉強会の様子

新メンバーを加えてパワーアップ

広報委員会

新発足の広報委員会は10月と1月にそれぞれ1回ずつ委員会を開催しました。この間、1月の公募に応じて数名の新メンバーが参加され、特にホームページ制作が強力に推進できるようになりました。1月に更新する予定です。キラリたかつニュースは第1号に続き第15号を発行し、次の第16号は3月発行の予定です。

ぜひお越しください! これからの活動
まちづくり協議会から委員が参加している催しを紹介します。

大山街道フェスタ:大山街道の市(フリーマーケット)や高津の名産品紹介など、大山街道の魅力を再発見するイベントです。(2月15日(日)・図書館前及びふるさと館)

川崎市市民健康の森交流会:7区の活動を発表しあい交流を深めます。(2月7日(土)・麻生市民館講堂)

市民自治創造・かわさきフォーラム:市民団体が分野を超えて交流し、豊かな地域社会を目指します。(2月13日(金)～14日(土)・高津市民館及び生活文化会館)

川崎地域県民討論交流集会:環境への負荷軽減や、循環型社会づくりについて、具体的な取組み策も含めて考えます。(2月21日(土)・中小企業婦人会館)

区の花「すいせん」と木「うめ」のシンボルデザインが決定しました。



【問合せ・連絡先】

高津区まちづくり協議会事務局
(高津区役所区政推進課まちづくり推進係)

Tel: 044-861-3133 Fax: 044-861-3103

e-mail: 67kusei@city.kawasaki.jp

http://www.city.kawasaki.jp/67/67kusei/home/kumin/kumin.htm